

日本とアメリカの贈り物の習慣の比較
Comparison of Japan and America's Gift-Giving Customs

カルパ・アンジュール
Kalpa Anjur

82-272 Intermediate Japanese II

Abstract

This paper analyzes similarities and differences between gift-giving customs in both America and Japan and explores the possible explanations for them. Drawing on sources including Japanese speaking assistants, guest speakers, and readings done in class, the essay provides background on the widespread gift-giving customs of Japan and relates them in parallel to the author's own experiences in America. After reaching the conclusion that Americans tend to give gifts less often than those living in Japan, it examines the reasons behind this cultural difference, taking into consideration long-established traditions, societal structures, and what the culture of gift-giving really means to those involved.

私の選んだトピックは、日本の贈り物の習慣だ。日本と私の国のアメリカを比較しようと思う。このトピックを選んだ理由は、日本とアメリカの贈り物の習慣がだいぶ違って、なぜ日本人は贈り物が好きか知りたいと思うからだ。

まず、教科書に載っている「贈り物好きの日本人」という記事から分かったことを要約しようと思う。日本には、贈り物の季節が二つある。一つは七月のお中元で、他のは十二月のお歳暮だ。スピーキングアシスタントによると、親戚とお世話になった人だけに食べ物や好きな物などをあげるそうだ。そして、日本には、二種類のおみやげがある。日本人は、人の家に訪ねる時に、おみやげを持って行く。そのおみやげは、大抵飲み物と食べ物だ。その他、旅行した時に、家族や同僚などのために土地の物を買って

帰る。それもおみやげだ。それから、日本では、バレンタインデーが大切だそうだ。バレンタインデーには、女性が男性にチョコレートをあげるが、一か月後のホワイトデーには、男性が女性にお返しの贈り物をあげる。それは例えばキャンディーなどの物だ。

その他、日本の贈り物文化について詳しく理解できるように、日本人ゲストとスピーキングアシスタントに最近の習慣を教えていただいた。まず、日本人ゲストのAさんと話した。日本人はお歳暮やお中元などの季節には、よく食べ物をあげるそうだ。例えば、おもちとお菓子を親戚にあげると言った。でも、時々会社の目上の人に感謝のカードだけを書いてあげてもいいそうだ。それから、クリスマスには、恋人はよく時計とか洋服とかアクセサリをあげる。そして、日本人ゲストのBさんは、行事によって、現金をあげる時もあると言った。例えば、お正月や結婚披露宴などの時だ。お正月には、お年玉の習慣があるから、現金をあげなくてはいけないそうだ。そして、結婚披露宴の贈り物について、奇数の現金をあげなくてはいけないと言った。その習慣は、とても細かくて厳しいと私が思った。その他、スピーキングアシスタントからたくさん面白いことを教えていただいた。まず、白い菊の花は大抵葬式の時に使うので、贈り物としてあげてはいけないと言った。そして、お世話になった人に、よく感謝を表すほうがいいそうだ。だから、お歳暮とお中元の習慣がある。それはいい習慣だと思う。

日本と違い、アメリカでは贈り物の季節が一つだけあると思う。それは冬のホリデーシーズンだ。その期間の年間行事は、クリスマスやハヌカやクワンザなどの宗教の祝日だ。人は親戚とか友達とかお世話になった人に贈り物をあげる。たしかに日本にはクリスマスがある。でも、日本のクリスマスには、両親が子供にプレゼントをあげたり、仲がいい男女がプレゼントを交換したりするだけだ。それから、アメリカには、おみやげが一つだけある。それは、外国に行く時に、何か買って帰ってあげる贈り物だ。時々人の家に訪ねる時に、食べ物などのプレゼントをあげてもいいが、それは人によって違うと思う。それから、アメリカのバレンタインデーには、彼氏は彼女にチョコレートや花などをあげる。それは日本のバレンタインデーの逆だと思う。でも、アメリカには、ホワイトデーがない。その他、日本のお歳暮とお中元は大事な季節だ。でも、アメリカには、似ている習慣があまりない。だから、贈り物の季節が少ない。

結論として、アメリカ人は日本人ほど贈り物をあげないと思う。理由がたくさんある。例えば、アメリカにも日本にもバレンタインデーがあるが、アメリカにはホワイトデーがない。私の意見では、日本にはきまりがたくさんあるので、日本人の習慣の方が厳しい。日本人はプレゼントをもらったら、ちゃんと感謝を表さなくてはいけない。だから、日本では、お礼として贈り物をあげることになっている。でも、アメリカに

は、感謝を表すために色々な方法があるので、贈り物の習慣があまり厳しくないと思う。そして、アメリカでは、贈り物の季節が少ないので、その季節の意味が人によって違う。例えば、クリスチャンの人は、クリスマスの時に宗教を祝いたがっているから、贈り物をする。でも、他の人は、アメリカのクリスマスの文化に参加したい気持ちがある。一方で、日本では、クリスマスはあまり宗教の日じゃなくて、仲がいい男女や親子の一緒にいるための日だそう。他の特別な意味があまりないので、クリスマスの意味が人によって大体同じだと思う。だから、アメリカの方が日本人よりクリスマスの贈り物の習慣を重んじると考える。それから、日本では、上下関係がとても大事だ。だから、よく目上の人に感謝を表したがっていると思う。そのために、お歳暮とお中元のよな習慣がある。それに、贈り物の選択が厳しい。でも、アメリカには、その上下関係があまりないから、お歳暮などの習慣がない。そして、プレゼントをもらっている人は大抵プレゼントをあげている人と同じレベルなので、贈り物の選択は日本ほど厳しくないと思う。たしかに、日本とアメリカの贈り物文化について違いがたくさんある。しかし、日本人もアメリカ人もお世話になった人に感謝を表したがっているから、贈り物の習慣が大切だと思う。